

事業評価調書

◎基本情報

| | | | | | | |
|-------------|---|--|---|------------|-------|--------------|
| 年度 | 令和3年 | 会計コード | 10 | 一般 | 事業コード | 20367 |
| 事業名 | 児童福祉施設措置費 | | | | | |
| 評価担当課 | 所属名 | 子)児童相談所 地域連携課 | | | | |
| | 課長名 | 山形 有祐 | 担当者名 | 渡辺 竜平 | 電話番号 | 011-622-8620 |
| 施策名 | 主 | 子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり | | | | |
| | 副 | | | | | |
| アクションプラン | ● 対象 ○ 対象外 | | 戦略ビジョン | ● 対象 ○ 対象外 | | |
| 事業の性質 | ● 経常経費 ○ 臨時的経費 | | | | | |
| | ○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理 | | | | | |
| 事業内容 | 実施形態 | ● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他 | | | | |
| | 目的 | 短期 | ①施設措置に伴い、措置児童分の措置費支弁の義務が発生する。 ②経済的な事情で学業を諦めざるを得なくなるが多い児童福祉施設入所児童への支援を行う。 | | | |
| | | 長期 | 同上 | | | |
| | 取組内容 | ①措置費の支弁 施設及び里親に支払う事務費(人件費等)、事業費(直接児童のために使われる経費)、医療費がある。 ②市費単独事業の実施 ・高等学校入学支度金補助(対象:市内養護施設等の入所児童)・職業訓練校入校費補助(対象:市内児童福祉施設入所児童)・大学進学等奨励給付事業(大学等に入学するために措置解除となる場合、進学に際し必要な経費等を支給) | | | | |
| | 実施結果 | ①国の基準に基づき、適正に扶助費を支給している。 | | | | |
| 事業実施における工夫点 | なし | | | | | |
| 対象者 | 児童福祉施設入所児童 | 開始 | 0 年度 | 終了 | 0 年度 | |
| 関連法令・条例・要綱等 | 児童福祉法、児童入所施設措置費国庫負担金交付要綱等、児童福祉施設入所児童等高等学校入学支度金補助要領、児童福祉施設入所児童等職業訓練校入校費補助要領等 | | | | | |
| 他都市の状況 | 措置費については、児童相談所設置義務のある、都道府県及び政令指定都市において同様。 | | | | | |

◎事業費

(単位:千円)

| | 令和2年度決算 | 令和3年度予算 | 令和3年度決算 | 令和4年度予算 |
|------------|---------|---|-----------|-----------|
| 事業費 | 4,099 | 4,568,294 | 4,237,512 | 4,143,120 |
| うち特定財源 | 0 | 2,287,118 | 2,098,122 | 2,083,105 |
| 人工 | 1.0 | 1.0 | 0.0 | 1.0 |
| 人件費 | 7,200 | 7,200 | 0 | 7,200 |
| 計(事業費+人件費) | 11,299 | 4,575,494 | 4,237,512 | 4,150,320 |
| 事業費の内訳 | 令和3年度決算 | ①児童福祉施設・里親等への措置費 4, 228, 303千円 ②児童福祉施設・里親等への市単独事業費 9, 209千円 | | |
| | 令和4年度予算 | ①児童福祉施設・里親等への措置費 4, 132, 602千円 ②児童福祉施設・里親等への市単独事業費 10, 518千円 | | |

◎検証(振り返り)

| | | | | |
|------------------------------|---|--|-----------------|----------------|
| 活動指標1 | 指標名 | 措置児童数(月初日在籍延人数・参考) | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度予定 | 令和3年度実績 | 令和4年度予定 |
| 活動指標2 | 指標名 | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度予定 | 令和3年度実績 | 令和4年度予定 |
| 成果指標1 | 指標名 | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度目標 | 令和3年度実績 | 令和4年度目標 |
| 成果指標2 | 指標名 | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度目標 | 令和3年度実績 | 令和4年度目標 |
| 項目 | 判定 | 理由 | | |
| 事業の成果 (目的をどの程度達成できたか) | A | ①施設措置に伴い、措置児童分の措置費を支弁している。 ②支給対象者全員に対して、札幌市単独事業による支弁を行った。 | | |
| 事業規模 (事業ボリュームは適切か) | A | ①国の基準により、児童の自立支援を行っていくために必要な経費を支給している。 ②児童相談所が関係する児童福祉施設のうち、支給要件を満たす全てのものを対象としているため、適切であるが、国や道の動向を注視していく必要がある。 | | |
| 事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か) | A | ①国の基準に基づき、適切に扶助費を支給している。 ②札幌市単独の給付事業であるため、委託は出来ない。給付方法は、該当施設の申請・請求によるものであり、事業の効率化はされている。 | | |
| 対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか) | A | ①対象者のニーズという観点からの評価にはなじまない。 ②対象者の学業に対する経済的な援助が出来ている。 | | |
| 市民参加の実施 | <input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映 | | | |
| 今後の改善点 | なし | | | |
| 前回の評価 | ● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし | | | |
| 今年度取り組んだ見直し内容 | なし | | 見直し効果額 (前年度) | 0 千円 |
| 今回の評価 | ● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし | | | |
| 評価の理由 | ①国の基準に基づき、適切に扶助費を支給している。 ②支給対象者全員に対して給付を行っている。 | | | |
| 次年度の取組の方向性・改善内容 | 事業内容 | <input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ①引き続き適切な扶助費の支給を執行する。 ②国や道の動向を注視しつつ、現状の給付内容で事業を継続していく。 | | |
| | 予算 | <input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 ①国の基準による。 ②支給対象者は年度によって変動するが、現状維持とする。(アクションプランにも掲載) | | 見直し効果額 0 千円 |